



こんなにおもしろい! イランの絵本



— 知られざる豊かな絵本文化の秘密をさぐる —

講師：愛甲恵子

2022.

12.

4.

日

14:00-16:00
出版クラブビル

JBBY 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座 ⑤

主催：日本国際児童図書評議会 (JBBY)

■「子どもゆめ基金」助成活動

こんなにおもしろい! イランの絵本



— 知られざる豊かな絵本文化の秘密をさぐる —

絵本を含む児童書の刊行が、年間 7000 タイトルを超えるほどに成長しているイラン。2019 年に世界最大の絵本原画コンクールであるブラチスラバ世界絵本原画展 (BIB) でグランプリをとったのも、イランの絵本『ボクサー』でした。

ペルシャ語の翻訳家である愛甲恵子氏は、これまでにその『ボクサー』や、著名な映画監督アッバス・キアロスタミが手がけた絵本をはじめ、多くの作品を日本に紹介してきました。この講座では、イランの豊かな児童書の文化、今注目を集めている出版社、そこで生まれた美しい絵本の数々について、お話をうかがいます。ユニークでオリジナリティにあふれた、新しい作品もたくさんご紹介いただきます。

講師：

愛甲恵子

Keiko Aiko



ペルシャ語翻訳家。東京外国語大学大学院修士課程修了後、10 ヶ月のイラン留学を経て、2004 年より美術家フジタユメカとともにサラーム・サラーム

というユニット名で、イランの絵本やイラストレーターを紹介する展覧会などを開催している。訳書に『ごきぶりねえさんどこいくの?』(ブルース・インターアクションズ)、『ボクサー』(トップスタジオ HR)、『ぼくは話があるんだ、きみたち、子どもたちだけが信じる話』、『いろたち』(カノア) など。再話に『ノホディとかいぶつ』(福音館書店)、『アリババと 40 人のとうぞく』(ほるぷ出版)、『2 ひきのジャッカル』(玉川大学出版部)。

日時 | 12 月 4 日 (日) 14:00-16:00

場所 | 出版クラブビル 東京都千代田区神田神保町 1-32

地下鉄「神保町駅」A5 出口より徒歩 2 分

<https://shuppan-club-hall.jp/access> 地図 →



対象 | 大人 (高校生以上可) 定員 | 60 人 (申込先着順)

参加費 | 1,100 円 (事前払込み)

■ この活動では、子どもゆめ基金への報告のために、参加者の写真を撮影させていただきます。子どもゆめ基金に提出した個人情報(写真)は、「(独) 国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。なお、会場の遠景写真(参加者は後ろ姿のみ)を、主催者広報用に HP や SNS、刊行物等に掲載することがあります。

お申し込み

外部サイト「Peatix」からお申し込みください。クレジットカード決済が振り込みが可能です。

<https://jbbyonline032.peatix.com>



表面書影 (上段左から): 『世界はぼくのもの』 Tahmineh Haddadi 文 Haleh Ghorbani 絵 2021 Tuti / 『いろたち』 アッバス・キアロスタミ絵と文 愛甲恵子訳 2022 カノア / 『青い目の少年』 Javad Mojabi 文 Farshid Mesghali 絵 1973 Kanoon / 『ごきぶりねえさんどこいくの?』 M・アーザード文 モルテザ・ザーヘディ絵 愛甲恵子訳 2006 ブルースインターアクションズ / 『ぼくは話があるんだ、きみたち、子どもたちだけが信じる話』 アッバス・キアロスタミ絵 アフマド・レザー・アフマディー文 愛甲恵子訳 2022 カノア / 『アリババと 40 人のとうぞく』 愛甲恵子再話 ナルゲス・モハンマディ絵 2021 ほるぷ出版 / 『ゴレスターネ』 Saadi 文 Reza Dalvand 絵 2020 Madreseh / 『ノホディとかいぶつ』 (こどものとも) 愛甲恵子再話 ナルゲス・モハンマディ絵 2018 福音館書店 / 『ボクサー』 ハサン・ムーサヴィー文と絵 愛甲恵子訳 2021 トップスタジオ HR / 『2 ひきのジャッカル』 愛甲恵子再話 アリレザ・ゴルドゥイヤン絵 2021 玉川大学出版部

▶ 主催・問合せ先

JBBY 日本国際児童図書評議会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-5F Tel: 03-6273-7703 Email: info@jbby.org

